

博物館情報・メディア論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. COVID-19パンデミックの下、博物館の資料・標本・作品等による「リアルな経験」に加えて、情報機器を介した「リモートな経験」への需要がある。それぞれの経験の特徴と課題を利用側と運営側の視点で整理して500字以内で論じなさい。(20点)

2. 2016年10月に文化庁が開催した「ここからーアート・デザイン・障害を考える3日間」展は、2019年の「ここから4ー障害・表現・共生を考える5日間」で4回を数える。「ここから4」の開催案内には、展覧会のねらい等について以下のように書かれている。

『本展では、障害のある方たちが制作した『表現の持つ根源的なよろこび』が感じられる作品に加え、障害・障壁への気づきをうながすマンガ・アニメーションや、身体感覚を際立たせる映像・メディアアートなども紹介します。また、鑑賞支援の取り組みを進めることで、より多くの人に『ひらかれた』展覧会とします。障害の有無を超越し、多様な作品が『ごちゃまぜ』に共存する空間を通じて、創造的に生きることの原点を実感できる機会となることを願っています。』

この企画の進展に合わせて、メディアアートを用いた、障害のある方々への創作・鑑賞支援の取り組みも増えている。その現状について知っていることと、今後の可能性について考えられることを500字以内で述べなさい。(20点)

3. 次の文章の()に最も適する語句を下の①～③の選択肢より選りなさい。**解答欄**にはその番号を記しなさい。(各5点)

(1) MIDIは()である。

- ① AV機器やコンピュータを接続する高速シリアルバス規格
- ② 周辺機器とコンピュータとの間のデータのやりとりを行うインタフェース規格
- ③ 電子楽器の演奏データを機器間で転送・共有するための共通規格

(2) 位置情報サービス () とは、携帯機器などにより利用者が現在いる位置を取得し、それに応じた情報を提供するサービスのことである。

- ① GPS ② GDP ③ LBS

(3) 動画共有サイト YouTube 上に数学等の問題の解き方を説明する動画や、知識・教養・学習方法の講義をする動画を発信する個人や組織のことを () と呼ぶ。

- ① 教育系 YouTuber ② スタディ・チューブ ③ VTuber

(4) 人工知能を用いて作り出される偽動画のことを () という。例えば、ある人の顔を数万点ものパーツに分解し、人工知能が別の人の顔にすり替えて、顔の表情を自然に動かす。映っている人の表情に合わせてそれぞれのパーツが自在に動くため、加工された動画だと気付きにくい。

- ① AI フェイク ② ディープフェイク ③ バーチャルフェイク

4. 次の (1) ~ (4) の文章のうち、それぞれ正しいものの記号1つを選びなさい。
(各5点)

(1) DX (デジタル・トランスフォーメーション) について

- ① ICTによって企業や組織を縮小化すること。
② ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
③ デジタルデータの転送技術のこと。

(2) コンピュータ技術 (研究の自動化) について

- ① ロボティクスや大量のデータを基にした相関関係の分析技術の向上により、因果関係を不明としたままでも機械による実用的な判断は可能であり、実験や知的分析などの多くの部分が人間を上回る能力で自動化が可能であると見込まれている。
② 手技の熟練や経験の積み重ねを基にした総合的な知的判断が必要であるため、学術研究の自動化を実現することは不可能である。
③ 人間の持っている知識を明確化してそれをソフトウェアに埋め込むことは、系統化された状況を除いては難しく、知的分析を自動化することはできない。

(3) 教育放送の歴史について

- ① NHK教育テレビジョンは、日本で初めて教育放送を専門に扱うテレビジョン放送局として1959年(昭和34年)に東京、大阪、名古屋、仙台、広島、札幌で開局した。
- ② 1950年に施行された放送法では、放送番組の種別を「教養番組」、「教育番組」、「報道番組」、「娯楽番組」に区分し、放送局には「教育番組」、「教養番組」を合わせて80%以上放送することを義務付けている。
- ③ 1958年に告示され、1961年に実施された学習指導要領では、視聴覚教材の積極的な活用が謳われた。しかし、NHK文研の学校放送利用状況調査によると、各小学校におけるテレビの設置数は1960年度は1.3台であり、全国平均で1教室1台になるのは1975年であった。

(4) 漫画の歴史について

- ① 日本最古の漫画と称される「鳥獣人物戯画」は京都市右京区の高山寺に伝わる紙本墨画の絵巻物で国宝となっている。描かれた時期は鎌倉時代末期とされ、作者は鳥羽僧正であると言われているが定かではない。
- ② 1931(昭和6)年に『少年倶楽部』で連載が始まった田河水泡の「のらくろ」は一時の中断はあったものの、約50年間連載された。主人公の野良犬「のらくろ」が陸軍を模した「猛犬聯隊」に入隊し、失敗を繰り返しながらも、努力を重ねて出世するという内容であった。明るく前向きに生きる姿は、当時、多くの子どもと大人から人気を博した。
- ③ 19世紀、版画の印刷技術が向上したことを追い風に、日本初の漫画雑誌といわれる『ジャパン・パンチ』が1862(文久2)年に発刊された。発行者はイギリス人のジョルジュ・ビゴーであり、横浜居留地に住む外国人に、日本国内の政治や社会問題を風刺漫画と英語の文章で伝えていた。1887(明治20)年に廃刊されるまで、約25年にわたって、200号以上を発行した。

5. 以下の用語から **2つ選択**し、解答用紙に選択した用語の(1)～(4)の番号を記載のうえ、その内容を簡潔に説明しなさい。なお、**2つ以上回答した場合は無効とする。**(各10点)

- (1) Google Arts & Culture (スマートフォン・アプリ)
- (2) サーモグラフィ
- (3) BYOD (Bring Your Own Device)
- (4) GIGAスクール構想